

PICKUP 01

災害に備えよう～風水害から身を守ろう～ ㊟ 危機管理課 ☎76-8127

6月から10月は「出水期」といい、梅雨前線の停滞や台風の接近・上陸などによる河川の氾濫や、土砂災害の危険性が高まります。大雨が降る前に日頃の備えを確認しましょう。

防災気象情報・避難情報を確認しよう

●防災気象情報

大雨や台風は、「いつ・どこで・どのくらいの強さで発生するか」をある程度予想することができ、気象庁が情報を発信しています。テレビや気象庁ホームページなどで情報を確認し、早めの行動を心掛けましょう。



●避難情報をお知らせする5段階の「警戒レベル」

洪水や土砂災害などに備え、市民の取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を使って、気象庁や市から発信します。警戒レベルを確認し、危険な場所（ハザードマップに色が塗られている場所など）から避難してください（移動が危険な場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ）。 ※ハザードマップは「防災ガイドブック」かホームページで **ID 39930**

警戒レベル	取るべき行動など	避難情報の名称など
5	命の危険！直ちに安全確保！ その場でできる命を守る最善の行動を	緊急安全確保 (市が発令)
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難(警戒レベル5は避難する時間はありません)		
4	危険な場所から全員避難！	避難指示 (市が発令)
3	避難に時間のかかるかた (高齢者や障がいのあるかた、乳幼児など)とその支援者は避難！	高齢者等避難 (市が発令)
2	ハザードマップなどを見て、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨・氾濫注意報など (気象庁が発令)
1	災害への心構えを高め、日頃の備えを再度確認しましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)

●R8.5/29から防災気象情報の発表方法が変わりました **ID 39866**

- 防災気象情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)を5段階の警戒レベルに合わせて発表
- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記 (例)大雨警報→レベル3大雨警報
- 警戒レベル4相当の情報は「危険警報」、警戒レベル5相当の情報は「特別警報」として発表 (例)土砂災害警戒情報→レベル4土砂災害危険警報

防災情報を手に入れよう **ID 39881**

市では、さまざまな方法で防災情報を発信しています。中でも防災アプリは防災情報に特化したツールですので、ぜひ登録をお願いします。
※詳細は、広報おわりあさひ保存版かホームページで

▼アプリのダウンロードはこちら



iPhone
のかた



Android
のかた

マイ・タイムラインをつくろう **ID 39870**

マイ・タイムラインとは、台風や大雨の風水害など、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、「いつ・誰が・何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のことです。自分の家族構成や生活環境に合った必要な情報・判断・行動を把握して、マイ・タイムラインをつくりましょう。 ※詳細は、ホームページで

PICKUP 02

あさひフェスタの協賛を募集します

問 あさひフェスタ実行委員会(産業課内)
☎76-8137 ID 52880

今年度、新たな市の祭りとして「あさひフェスタ」を愛知県森林公園で開催します！より一層祭りを盛り上げるため、皆様のご支援をお願いします。

と き 10/31(土)10:00~16:00

※雨天決行・荒天中止

と ころ 愛知県森林公園

協賛募集内容 ●特別協賛1口5万円

●広告協賛1口1万円~3万円

●出店協賛

食の広場 キッチンカー・テント

1口1万5千円~2万円

各団体出店テント

1口1万円~1万5千円

●イベント協賛1口5万円から

募集期限 7/8(水)まで。詳細は、ホームページで

PICKUP 03

5歳児健康診査を始めます

問 こども家庭課 ☎53-5566 ID 53503

5歳ごろになると、遊びや人間関係が豊かになる一方で、集団生活に馴染めないなど新たな心配事が出てくる時期でもあります。

5歳児健診では、お子さんの健やかな成長発達を確認し、小学校入学へ向けて保護者の心配なことや気になることについて相談を受けます。

と ころ 保健福祉センター

対 象 者 5歳の誕生日を迎えた幼児

内 容 就学に向けてのお話、保育士との
集団あそび、問診、身体測定、小児科
医診察、子育て相談、心理発達相談、
教育相談など

そ の 他 健診の1カ月程度前に個人通知あり

PICKUP 04

カラスにごみ集積所を荒らされないために 問 環境課 ☎76-8135 ID 32951

カラスは学習能力が高く雑食性のため、市街地では生ごみや残飯を餌として暮らしています。6月前後はカラスのヒナが巣立つ時期で、活動が活発になります。ごみ集積所のカラス被害を防ぐための対策にご協力をお願いします。

対策1 生ごみを減らす

カラスにとって生ごみは食べ物です。生ごみを少なくすることが効果的です。

対策2 生ごみを見えないようにする

カラスは主に視覚で餌を探します。紙に包むなど、外から見えないようにすると被害を減らすことができます。

対策3 ネットでごみ袋を覆う

カラスがごみに触れることができないよう、カラス除けネットでごみ袋をしっかりと覆いましょう。ネットからごみ袋がはみ出したり、ネットの上や外にごみ袋を置いたりしないようにしましょう。

対策4 折りたたみ式ごみボックスを設置する

ふたつきの折りたたみ式ごみボックスの設置も有効です。

●カラス除けネットの配布

環境課または環境事業センター(東部浄化センター内)窓口へ直接

●折りたたみ式ごみボックス購入費補助金

詳細は、電話(環境事業センター ☎52-8000)かホームページで ID 32985

●電柱の上部にカラスの営巣を発見したら

中部電力パワーグリッド(株)旭名東支社(☎0120-929-265)に連絡をお願いします。

